

## 【作り方説明書】

## 足袋【2.3cm】

<b>■詳細対応サイズ</b> ・足サイズ 2.3cm	<b>■難易度</b> イージー/ノーマル/【ハード】/ハード↑/エクストラ
<b>■サンプル使用生地 of 厚み</b> 0.6mm	<b>■用意するもの</b> ・ニット等のストレッチ性のある布 ・ニット用の糸 ・ニット用の針
<b>■手縫い可否</b> OK	<b>■注意事項</b> ・布の伸び具合によっては、着られない場合があります。 ・解れ難い生地を使用する事を前提とした作製方法になっています。 ・パーツが小さい為、ミシンで縫い辛い場合は手縫いに変更する事も検討してください。 手縫いの場合は“本返し縫”又は“半返し縫”がおすすめです。
<b>■布に書き写すパーツリスト</b> ①②本体 2枚→左右反転して2枚 ③④足底 2枚→ // 合計：4枚 のパーツで構成	
<b>■必要な布量参考数値</b> <div style="text-align: center;"> <h2>足袋の型紙【縦2.3cm】</h2> <h3>横90cm, 110cm, 140cm</h3> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">縦8cm</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; display: flex; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">足底</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">本体</div> </div> </div>	

## 01. 型紙を貼り合わせる

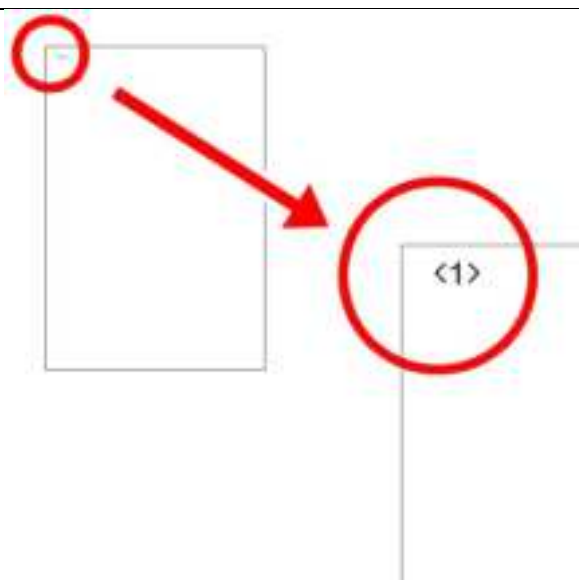
① 型紙に割り振られている番号を確認する。

（番号は型紙の左上に記載

※①～⑤の右図は全型紙共通で使用しています。

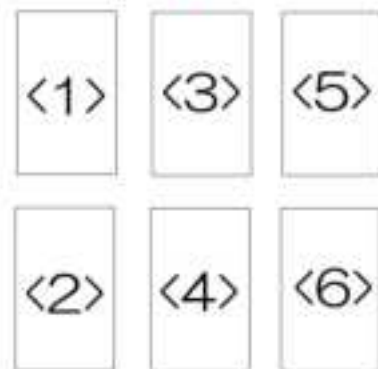
型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。

枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。

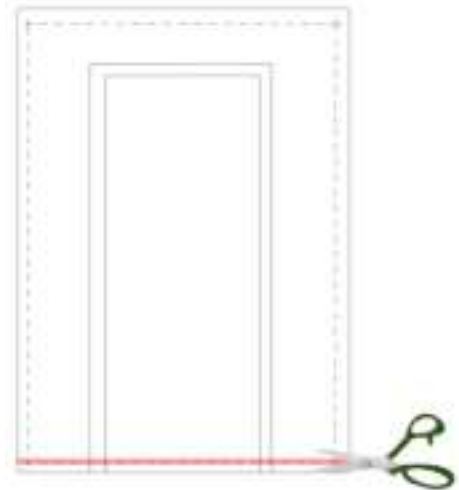


② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

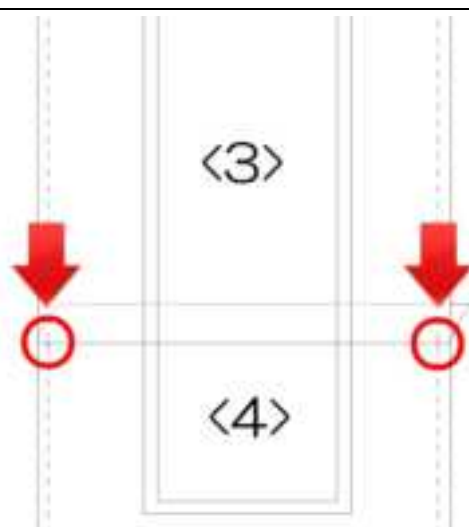
〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

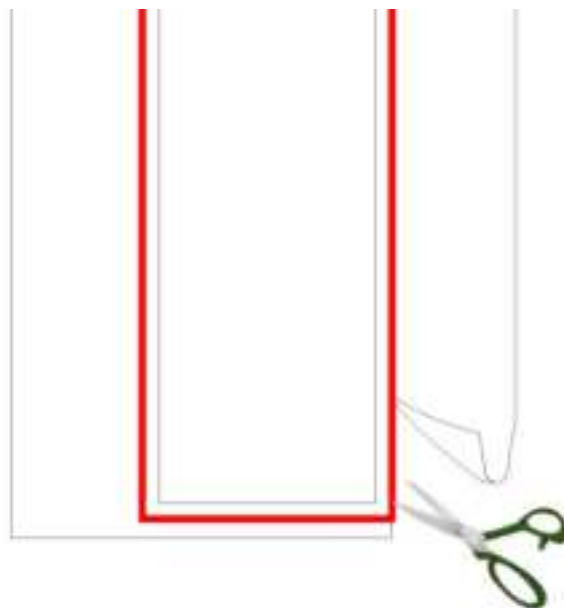


④ <5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、  
表裏両方をテープで留める。



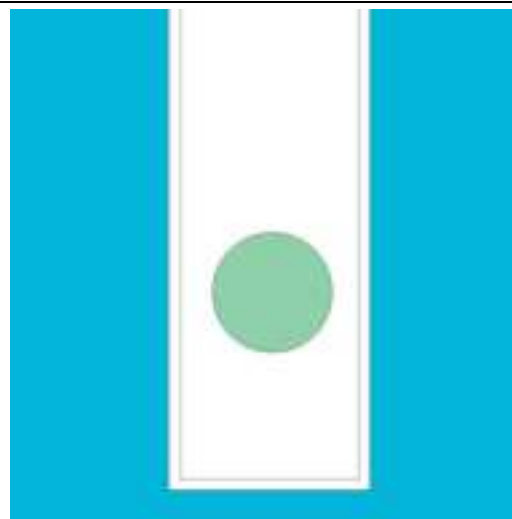
02. 型紙を切り取る。

02～07の右図は全型紙共通で使用  
しています。



03. 布を裏にして型紙を置く。

まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動  
かない様にする。

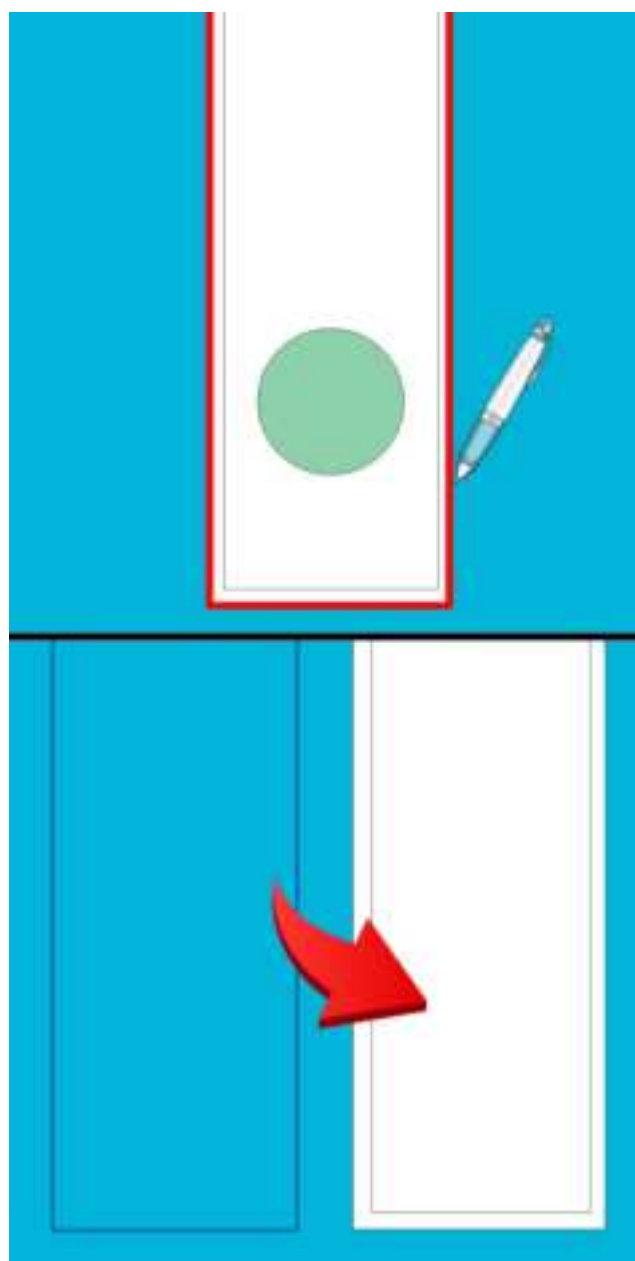


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

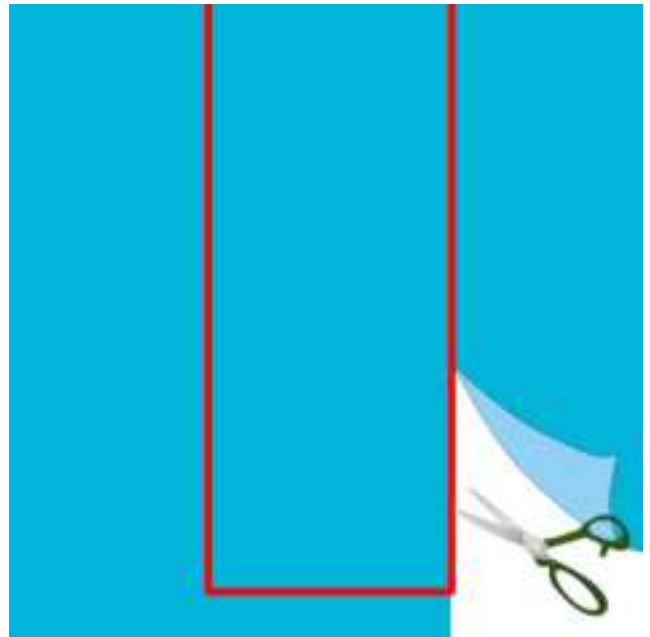
※オススメのチャコペン

・カリスマシャープペンシル(使用中)

・クロバー 水性チャコペン

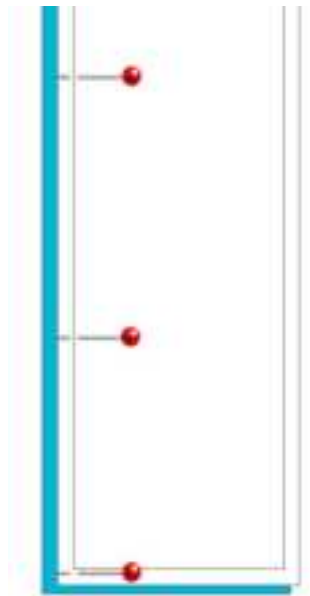


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔型紙と布がずれないようにするだけなので、  
細かくとめる必要はない。〕



## 07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

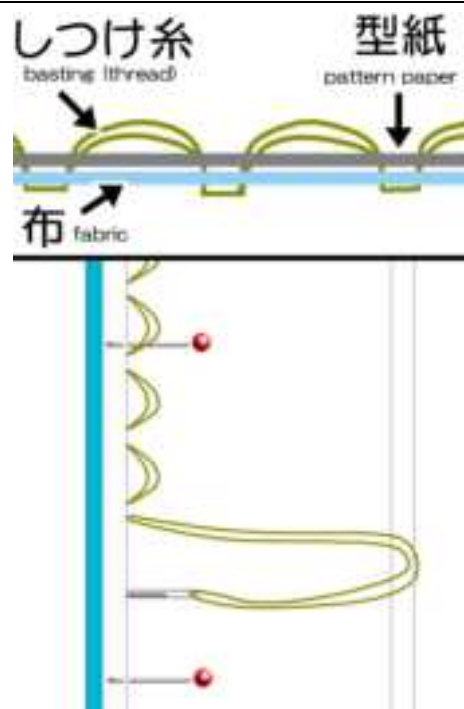
- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。  
〔玉止めはしない。〕



- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

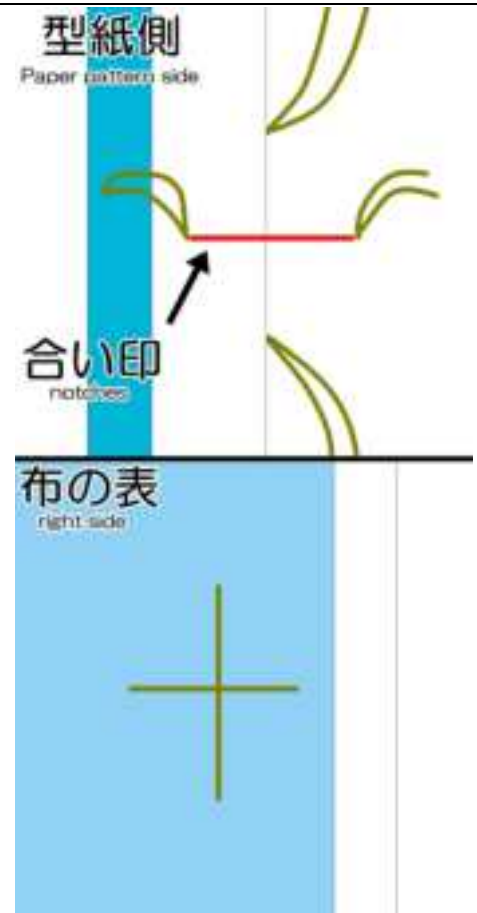
- A. 型紙から刺す  
B. 布を刺す  
C. 0.3cm 程度すくうように縫う  
D. 型紙を刺す  
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す  
A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。  
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕





- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て  
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

〔糸を抜き取らない様に注意。〕





⑧ しつけ糸が抜けやすい様に、アイロンか指で糸を寝かせる。

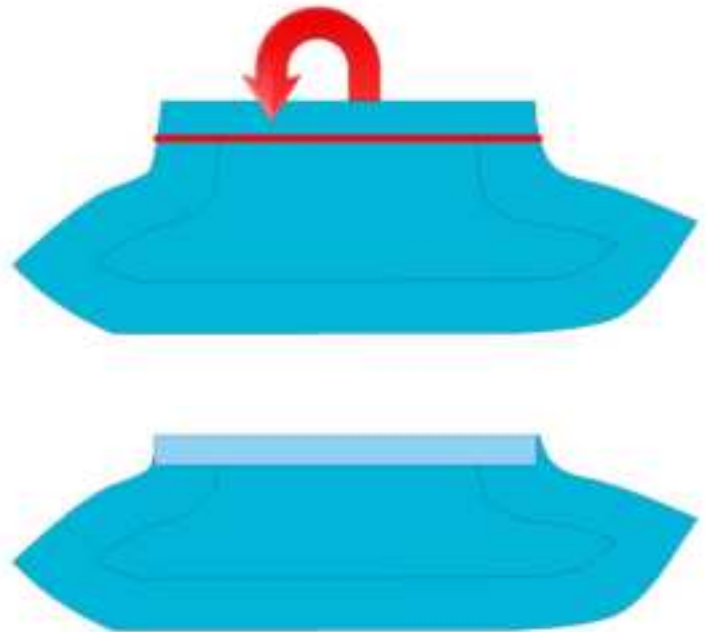


08. ミシンの針と糸をニット用に替える。



09. 上部を折る。

〔反対側も同じように折る。〕



## 10. 縁を縫う。

両側を 3mm 程度で止める。

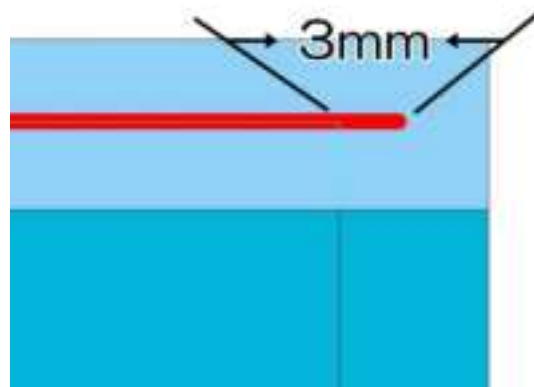
反対側も同じように縫う。



家庭用ミシンの縫い目を左図にする。

足底側は 3mm 程度で止める。

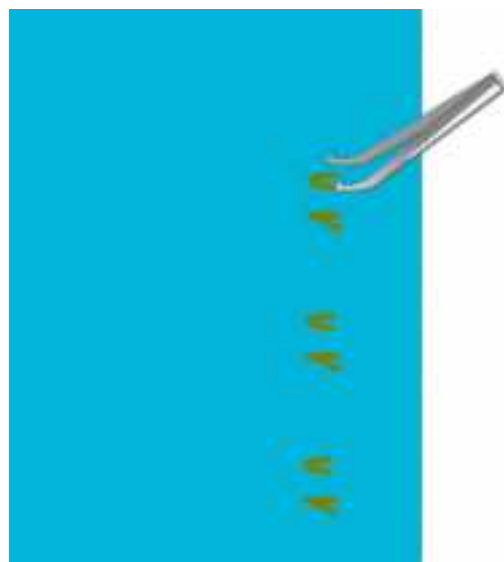
反対側も同じように縫う。



## 11. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

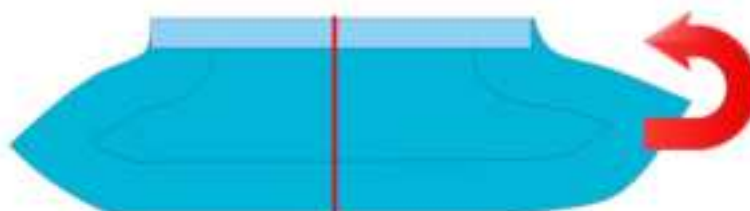
しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。

以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。



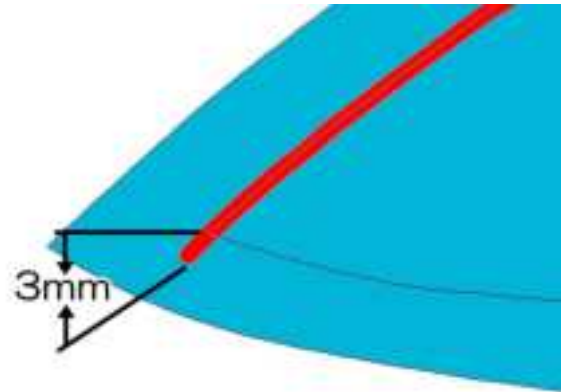
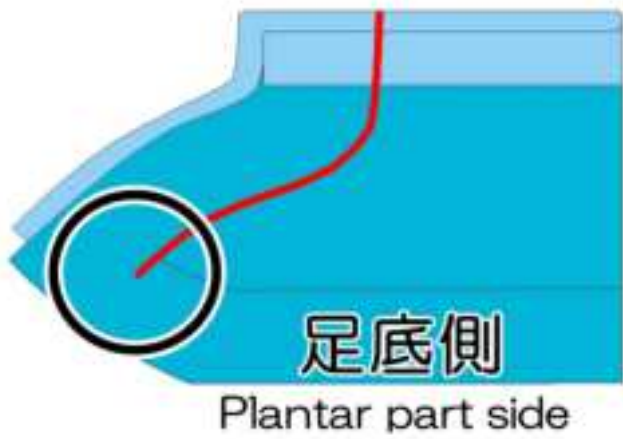
## 12. 表が内側になる様に、

親指側と小指側の A を合わせる。



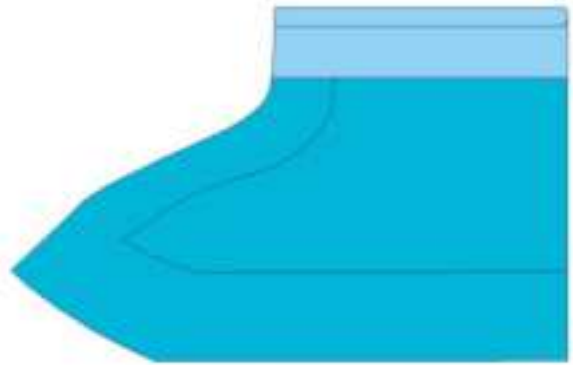
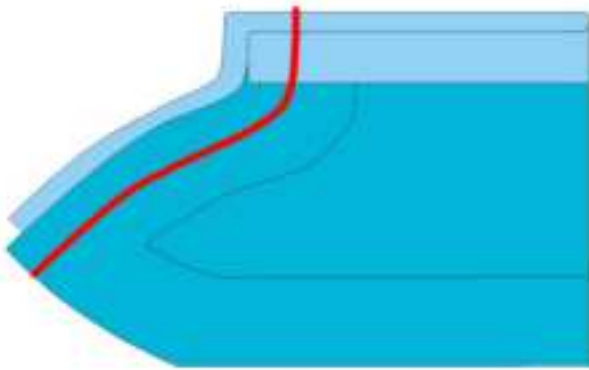
13. A の部分を縫う。

〔 反対側も同じように縫う。〕

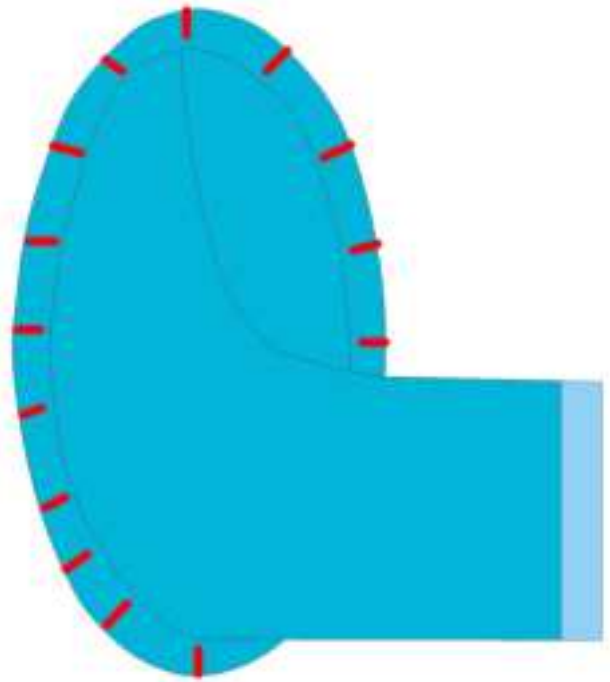


14. 縫い代を 3mm 程度にカットする。

〔 反対側も同じようにカットする。〕

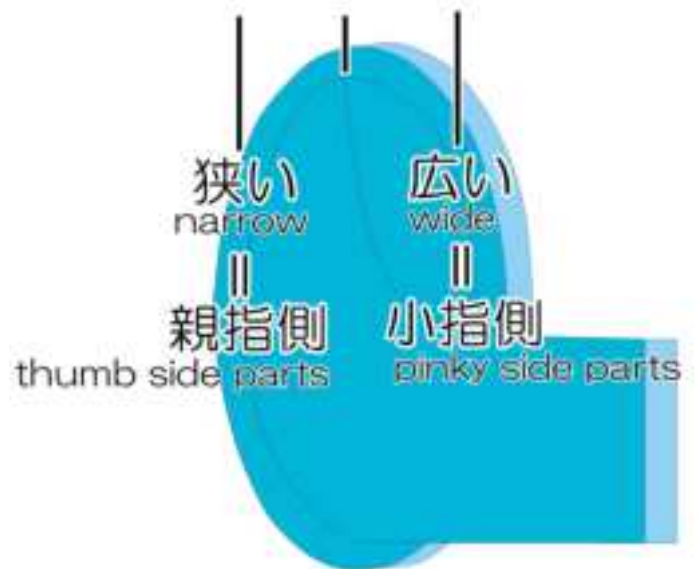


15. 本体の足底側に切り込みを入れる。



16. 表が内側になる様に、足底と上を合わせる。

- 〔 狭い方が親指側のパーツ、
- 〔 広い方が小指側のパーツが来る様にする。
- 〔 反対側も同じように合わせる。

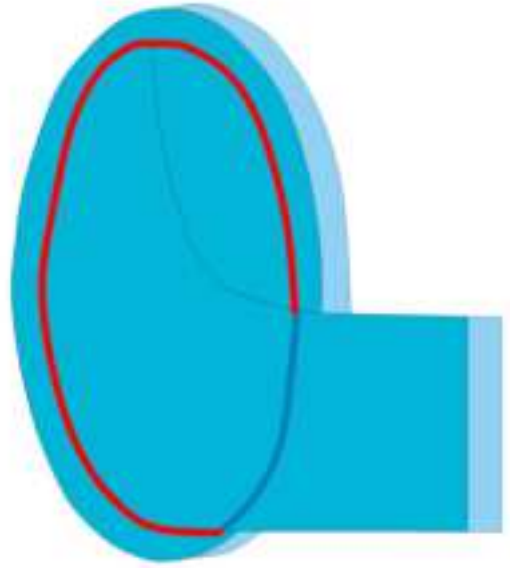


17. 一周縫う。

縫い辛い時は、しつけをしてから縫うと失敗が少ない。

反対側も同じように縫う。

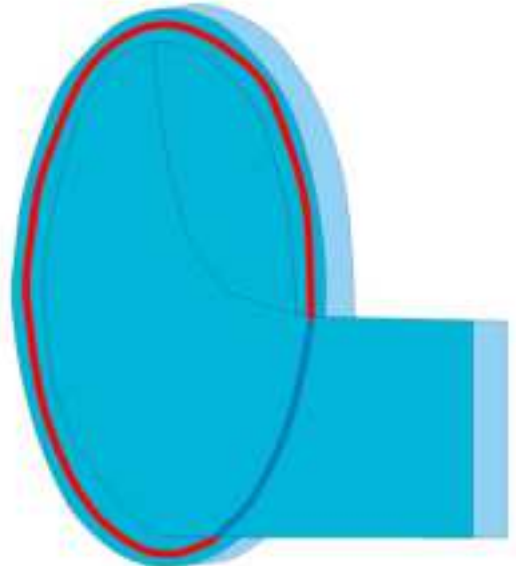
A の縫い代は小指側へ倒す。

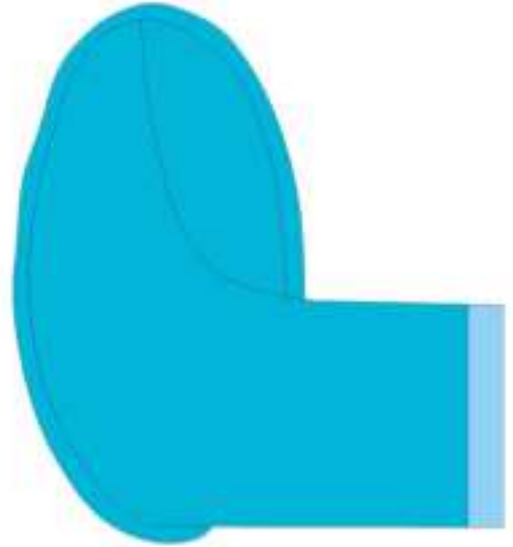


---

18. 縫い代を 3mm 程度にカットする。

〔 反対側も同じようにカットする。〕

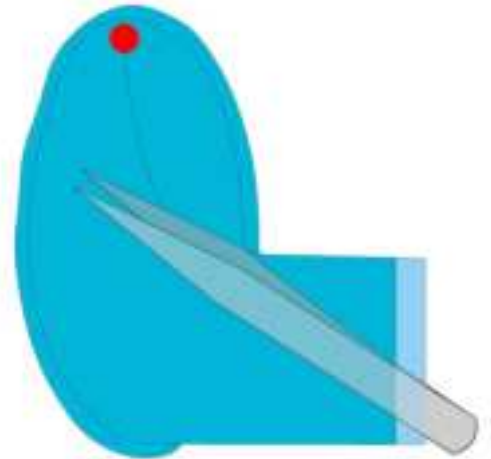




---

19. 表に返す。

- ピンセットを足首から中に入れ、
- 付近をつまみひっくり返す。



---

お疲れ様でした！